

第2部 AB法ワークショップ



AfterよりもBefore

「地域 みんなで助かる備え
を考えよう」

阪神・淡路大震災で知った重要なこと

- ①危機に瀕すると、組織はふだんやっていることしかできない
- ②ふだんやっていることも満足にできない
- ③いわんや、ふだんやっていないことは絶対にできない。

(「組織の危機管理入門」林春男から)

キーワードは

After(起こってから)

よりも

Before(その前に)

みんなで次頁以降の表において空欄になっている「Before」をワークショップで考えましょう。

①みんなが安全に避難するには

After(災害後のこと)	それへの対応(Before)を考えるにあたって気になること？	Before
1)市から避難指示が出ている 2)何を持っていけばよいかわからない 3)ペットどうしよう？ 4)お隣の鍵がかかっていて、避難したのかどうかわからない 5)避難所に来てみたら、日頃気になっている近所の人がいらない 6)避難所までのルートが心配 7)家を出る前にすることがわからない 8)一人で避難できない 9)家族と連絡が取れないけど避難所に行ってしまうと大丈夫？	・わが家が避難すべき対象の地域か、役所の避難指示を見てもよくわからない？ ・何を持っていく？ ・避難先には水や食料があるの？ ・避難所にペットは連れて行けるの？ ・自治会(管理組合)の役員の役割は？ ・近所の人との連絡の取り方は？ ・車いすでも行けるのか？ ・家を留守にするとき何したら？ ・災害弱者への避難への対応は？ ・留守の家族との連絡や取り決めは？	

②避難所の管理と運営

After(災害後のこと)	それへの対応(Before)を考えるにあたって気になること？	Before
1)誰が管理するのか不明 2)避難者の把握どうしたら？ 3)避難所として使える場所は？モノは？ 4)目がよく見えないので、避難所で生活できるか心配 5)障がい者、高齢者、等へ対応できる？ 6)障害があるので福祉避難所に行きたいが？	・開設する方法は？ ・だれが鍵持ってる？ ・避難者名簿の作成管理はどうするの？ ・倉庫にあるものや設備？ほかの教室は？ ・避難してきている人の特性を把握できてる？ ・障がい者、高齢者をどこに？だれが？ ・福祉避難所の利用方法の周知は？	

③物資の調達(ロジスティクス)

After(災害後のこと)	それへの対応(Before)を考えるにあたって気になること？	Before
1)食事が足りない 2)避難所の備蓄品が不足 3)支援物資が多すぎる 4)配る人がいない 5)避難所にいなくて自宅避難している人が食料を欲しがって配布場所に来ていて混乱している。 6)うちの子はアレルギーで配給物資が食べられない 7)情報が混乱	・食料や水が届くのか？ ・物資の調達のロジは？ ・調達するマンパワー確保は？ ・自宅避難者にも配布してもよいというルール？ ・アレルギーへの対応方法は？ ・情報発信の仕組み？	

時間切れでできませんでした

④避難所の環境

After(災害後のこと)	それへの対応(Before)を考えるにあたって気になること？	Before
1)暑い、寒い、プライバシーがない 2)地べたでは埃を吸う 3)感染症が流行 4)水が流せなくてトイレが汚くて使えない 5)避難所の床から起き上がれない 6)災害時の応急電源などの避難所の設備がよくわからない	・環境を改善する手立ては？ ・避難所でできる対応は？ ・工夫できることは ・きれいに使えるようにする工夫は？ ・お年寄りや障がいがある人どうする？ ・避難所として学校をどう使う？	

時間切れでできませんでした

⑤自宅避難

After(災害後のこと)	それへの対応(Before)を考えるにあたって気になること？	Before
1)自宅にいても安全か？ 2)水やライフラインが不安 3)支援の食料が届くのか 4)赤ちゃんのミルクが不安 5)子供やお年寄りの衛生が心配 6)家のトイレが使えない	・自宅の安全チェック方法は？ ・いつまで？ どこに行けば？ ・食料を入手する方法？ ・支援の食料を在宅避難者に届けるには？ ・水や電気がない中でミルクに対応できる？ ・どのように衛生的に過ごせるか？ ・近くの川の水が使えないか？ ・風呂の水をトイレに流しても良いのか？	

今回は時間切れで「避難所の環境」と
「自宅避難」はできませんでした。
AB法ワークショップで、家庭で、地域で、
今、何を備えるか、みんなで考えて、
少しずつでも実践していきましょう！



AfterよりもBefore

